

患者さんおよびご家族の方への臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

2 回目の同種移植における移植前処置が非再発死亡に与える影響

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 教授 仲宗根秀樹

【研究の対象となる方】

2003 年1月から2019 年 12 月の間に、日本造血細胞移植データセンターの移植登録一元管理プログラムに登録している移植施設で、急性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患、成人 T 細胞白血病／リンパ腫に対して、2 回目の同種移植（ドナーさんから骨髄などの造血幹細胞の提供を受ける治療）を行った 16 歳以上の患者さんです。

【研究の目的・方法】

同種移植後に再発した血液悪性腫瘍に対して根治を目指して2 回目の同種移植を行うことがあります。その場合、移植の合併症で亡くなる方が1 回目の移植と比べて多いことが知られています。移植前に使用する強力な抗癌剤や放射線照射（前処置）を1 回目の移植より弱いものにする事で、移植の合併症により亡くなる方が減らせる可能性があります。今回の研究では日本造血細胞移植データセンターのデータを使用して、2 回目の移植を受けたかたの前処置の違いにより、移植の合併症で亡くなる危険性がどの程度変化するかを解析します。これにより今後2 回目の移植を行うにあたって適切な前処置が選択できるようになる可能性があります。

【研究に用いる試料・情報の種類】

日本造血細胞移植データセンターから情報提供を受けます。情報の種類は、患者さんと疾患の情報（年齢、性別、疾患名、病期など）、ドナーさんと移植に関する情報（使用薬剤、ヒト白血球抗原（HLA）アレル一致度、前処置など）、移植後経過に関する情報（移植片対宿主病（GVHD）の有無、重症度およびGVHD 発症日、生死および生存確認日など）です。

【外部への試料・情報の提供】

なし

【研究組織】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科
日本造血細胞移植データセンター

【研究期間】

この研究の期間は、2024年2月1日から2025年9月30日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料の内容をお伝えすることが出来ますのでお申し出ください。

また、情報は日本造血細胞移植データセンターより個人が特定できない形で提供を受けますので、仮に情報漏洩が発生した場合でも不利益が生じることはありません。何かございましたら下記の連絡先までお申し出ください。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

Tel.048-647-2111

研究責任者：血液科 仲宗根秀樹

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 Tel.048-648-5225